

基本情報技術者 所見**【午 前】**

前回に引き続き、過去に出題されたテーマを切り口を変えて出題している、という傾向が見られました。また、過去の(旧第二種を含む)基本情報技術者試験の問題からの流用は少なかったようです。とはいえ、この傾向は基本情報技術者試験になって以来継続してみられるものです。また、今まで出題されたことのない目新しいテーマはほとんど見当たりませんでした。特筆するならば、電卓使用禁止にもかかわらず、計算問題が前回よりもさらに増えたことでしょう。1つひとつの計算は難しくありませんが、手間がかかるのでそこで時間を使ってしまった方もおられるのではないのでしょうか。

平均点は前回と同程度となると思われます。

【午 後】

全体的には、例年よりやや易しくなったと思われます。必須問題の5問が、例年に比べて易しめであり、落ち着いて考えれば素直に解ける問題が多かったように見うけられます。特徴を挙げるならば、午後の問題で最近あまり見かけなかったネットワークの出題がありましたが、内容は易しいものでした。今回の試験で明暗を分けたのは、問1ではないでしょうか。この問題では手間のかかる作業を行わなければならない、全く問題の意味がわからずに時間が過ぎてしまった受験生もいたかもしれません。問1ではまっぴらなければ、他の問題は時間配分どおりに解ける問題であったといえるでしょう。

また、プログラム言語では、前半の問題(問6～問9)はどの言語も比較的易しい問題でした。後半の問題(問10～問13)は選択言語により多少差が出たかもしれません。C、CASL は後半もそれほど難しくはありませんでしたが、JavaとCOBOLは難易度が高めでした。特に、COBOLを選択された方は問11で苦労したかもしれません。

平均点は、問1が難点であったということを考慮して、例年と同程度となると思われます。

以上